

付録 2 e-Tax ソフトのメンテナンス

e-Tax ソフトのメンテナンス（バージョンアップ、追加インストール、再インストール）はインターネットを介して簡単に行うことができます。

以下の場合にバージョンアップが必要となります。

- プログラムが更新された
- 共通帳票が更新された
- インストールしている税目の申告が更新された
- インストールしている税目の申請が更新された

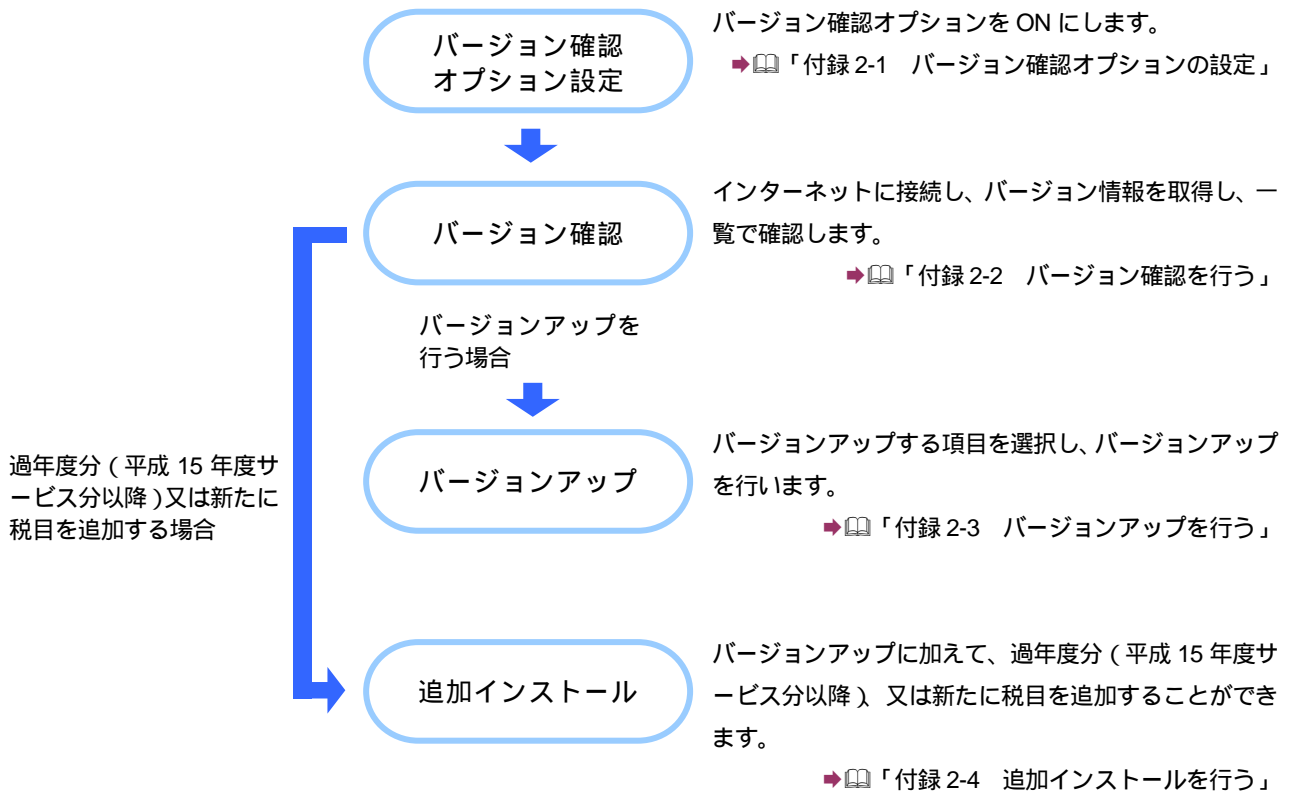
これらの場合にすぐにバージョンアップを行えるよう、e-Tax ソフトにはバージョン確認オプションが用意されています。

バージョン確認オプションを ON にしておくと、e-Tax ソフトの起動時に、バージョンアップが必要か確認されます。なお、バージョンアップ確認オプションを OFF に設定した場合でも、帳票の変更や、国税庁からのお知らせを定期的にチェックすることをお勧めします。

バージョン確認でバージョンアップが必要な項目があった場合には、一覧が表示されます。利用者は表示された一覧から簡単にバージョンアップを行うことができます。

また、セットアップしていない税目の追加や過年度分（平成 15 年度サービス分以降）の追加など、追加インストールを行うことができます。

e-Tax ソフトのメンテナンスの流れは以下のとおりです。



次頁以降で、各操作について説明します。

付録 2-1 バージョン確認オプションの設定

バージョン確認オプションを設定します。このオプションを ON にしておくと、e-Tax ソフトの起動時に、利用者がセットアップしている税目がチェックされ、申告・申請等を行う際、バージョンアップが必要となる税目が一覧表示されます。



e-Tax ソフトが起動している場合は、本プログラムを起動することができません。
注意 必ず e-Tax ソフトを終了してから行ってください。

1 < Windows 7 の場合 > Windows の [スタート] メニューから [すべてのプログラム] - [e-Tax ソフト] - [バージョン確認オプション変更] を選択します。

< Windows 8.1 の場合 > Windows の [スタート] メニューから [アプリ] - [バージョン確認オプション変更] を選択します。

< Windows 10 の場合 > Windows の [スタート] メニューから [すべてのアプリ] - [e-Tax ソフト] - [バージョン確認オプション変更] を選択します。

バージョン確認オプション変更プログラムが起動します。